

## 9 予算執行状況について（税込み）

予算執行の状況は、次のとおりである。

### (1) 収益的収入

（単位：円、％）

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執行率 (B)/(A) × 100
水道事業収益	824,941,000	831,291,170	6,350,170	100.8
営業収益	805,760,000	811,831,541	6,071,541	100.8
営業外収益	19,180,000	19,459,629	279,629	101.5
特別利益	1,000	0	-1,000	0.0
鶴形簡易水道事業収益	8,381,000	8,349,504	-31,496	99.6
営業収益	7,311,000	7,283,164	-27,836	99.6
営業外収益	1,069,000	1,066,340	-2,660	99.8
特別利益	1,000	0	-1,000	0.0
合 計	833,322,000	839,640,674	6,318,674	100.8

水道事業会計の収益的収入の決算額は839,640,674円で、予算現額と比較して6,318,674円(0.8%)の増となっている。

#### ①水道事業収益

水道事業収益の決算額は831,291,170円で、予算現額と比較して6,350,170円(0.8%)の増となっている。この主な内容は、営業収益では給水収益771,589,395円、下水道使用料徴収事務受託収入36,062,000円であり、営業外収益では他会計補助金18,901,871円である。

#### ②鶴形簡易水道事業収益

鶴形簡易水道事業収益の決算額は8,349,504円で、予算現額と比較して31,496円(0.4%)の減となっている。この主な内容は、営業収益では給水収益7,278,164円、営業外収益では他会計補助金1,066,340円である。

#### ③収入状況

##### ◇給水収益の収入状況

給水収益現年度分の収入率は水道事業が98.1%、鶴形簡易水道事業が97.1%となっている。前年度と比較してみると、水道事業は0.1ポイント低下し、鶴形簡易水道事業は1.5ポイント低下している。

水道事業の給水収益繰越分の未収入額は6,800,810円で、前年度より624,609円減少している。また、不納欠損後の調定額20,322,338円に対する収入率は66.5%で、前年度と比較して0.3ポイント向上した。ここ数年、滞納繰越分の未収金額は毎年減少してきているが、未だ600万円以上の未収金額となっている。

鶴形簡易水道事業の給水収益繰越分の収入率は100.0%で、未収入額はない。

収入状況の内訳は、次の表のとおりである。

(単位：円、%)

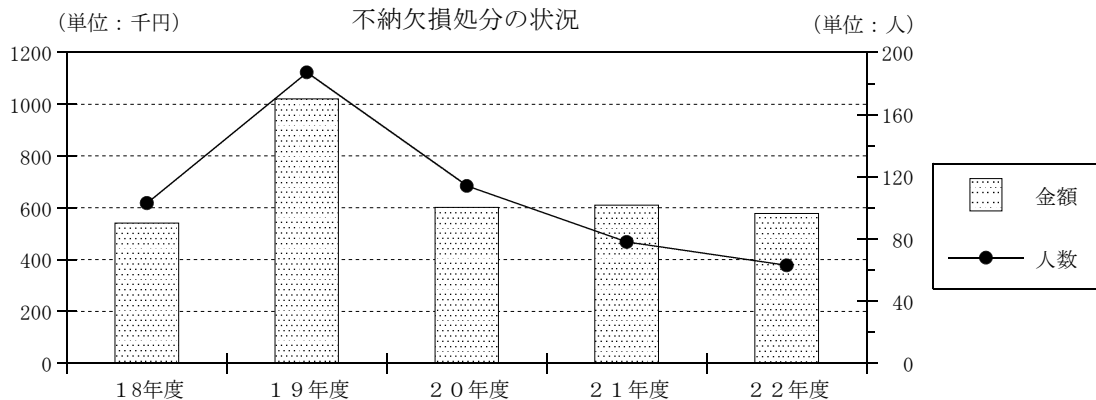
区	分	調 定 額	不納欠損額	差引調定額	収 入 額	未 収 入 額	収入率	
現 年 度	水道事業	営 業 収 益	811,831,541	0	811,831,541	788,255,814	23,575,727	97.1
		給 水 収 益	771,589,395	0	771,589,395	757,300,168	14,289,227	98.1
		その他の営業収益	40,242,146	0	40,242,146	30,955,646	9,286,500	76.9
		営 業 外 収 益	19,459,629	0	19,459,629	19,459,629	0	100.0
		計	831,291,170	0	831,291,170	807,715,443	23,575,727	97.2
	鶴形簡易水道事業	営 業 収 益	7,283,164	0	7,283,164	7,072,886	210,278	97.1
		給 水 収 益	7,278,164	0	7,278,164	7,067,886	210,278	97.1
		その他の営業収益	5,000	0	5,000	5,000	0	100.0
		営 業 外 収 益	1,066,340	0	1,066,340	1,066,340	0	100.0
		計	8,349,504	0	8,349,504	8,139,226	210,278	97.5
小 計	839,640,674	0	839,640,674	815,854,669	23,786,005	97.2		
繰 分	水道事業	営 業 収 益	21,191,799	578,461	20,613,338	13,812,528	6,800,810	67.0
		給 水 収 益	20,900,799	578,461	20,322,338	13,521,528	6,800,810	66.5
		その他の営業収益	291,000	0	291,000	291,000	0	100.0
		営 業 外 収 益	1,465,975	0	1,465,975	1,465,975	0	100.0
		計	22,657,774	578,461	22,079,313	15,278,503	6,800,810	69.2
	鶴形簡易水道事業	営 業 収 益	99,337	0	99,337	99,337	0	100.0
		給 水 収 益	99,337	0	99,337	99,337	0	100.0
		その他の営業収益	0	0	0	0	—	—
		営 業 外 収 益	533,170	0	533,170	533,170	—	100.0
		計	632,507	0	632,507	632,507	0	100.0
小 計	23,290,281	578,461	22,711,820	15,911,010	6,800,810	70.1		
合 計	862,930,955	578,461	862,352,494	831,765,679	30,586,815	96.5		

◇不納欠損の状況

不納欠損処分額は578,461円で、前年度に比較して31,944円(5.2%)の減であり、いずれも水道事業分である。対象者は63人(法人を含む)で、前年度に比較して15人の減となっている。

不納欠損の理由は、無届転居が48件、倒産・廃業が5件、死亡9件、消滅時効1件となっている。

不納欠損の推移は、次のグラフのとおりである。



## (2) 収益的支出

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執行率 (B)/(A) × 100
水道事業費用	780,804,000	779,974,137	-829,863	99.9
営業費用	601,574,547	600,803,076	-771,471	99.9
営業外費用	179,129,453	179,129,453	0	100.0
特別損失	100,000	41,608	-58,392	41.6
鶴形簡易水道事業費用	8,120,000	7,879,918	-240,082	97.0
営業費用	5,981,220	5,742,818	-238,402	96.0
営業外費用	2,137,780	2,137,100	-680	100.0
特別損失	1,000	0	-1,000	0.0
合 計	788,924,000	787,854,055	-1,069,945	99.9

収益的支出の決算額は787,854,055円で、予算現額と比較して1,069,945円(0.1%)の減となっている。

水道事業費用の決算額は779,974,137円で、予算現額と比較して829,863円(0.1%)の減となっている。また、鶴形簡易水道事業費用の決算額は7,879,918円で、予算現額と比較して240,082円(3.0%)の減となっている。

営業費用の主な内容は、人件費、配水設備の修繕料、浄水場の維持管理委託料、減価償却費等で、営業外費用の主な内容は、企業債の支払利息及び納付消費税等である。

## (3) 資本的収支

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執行率 (B)/(A) × 100
資本的収入	397,365,000	370,047,202	-27,317,798	93.1
水道事業	397,365,000	370,047,202	-27,317,798	93.1
鶴形簡易水道事業	0	0	-	-
資本的支出	787,957,704	755,516,197	-32,441,507	95.9
水道事業	787,682,704	755,266,297	-32,416,407	95.9
鶴形簡易水道事業	275,000	249,900	-25,100	90.9
差 引	-390,592,704	-385,468,995	-	-

資本的収入及び支出の決算額は、収入370,047,202円、支出755,516,197円であり、予算の執行率は、収入93.1%、支出95.9%である。予算と決算の差額のうち、収入は20,211,000円、支出は28,690,000円が翌年度へ繰り越しされており、これは下水道工事に伴う配水管移設工事、国道道路改築工事に伴う配水管移設工事及び山瀬ダム公共堰堤改良事業の繰越によるものである。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）385,468,995円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。補てん財源は、水道事業及び鶴形簡易水道事業ごとに管理され、内訳は次のとおりである。

(単位：円)

		補てん財源額	補てん額	残額
水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	11,521,259	11,521,259	0
	減債積立金	1,369,000	1,369,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	160,070,288	160,070,288	0
	当年度分損益勘定留保資金	301,659,241	209,734,628	91,924,613
	減価償却費	297,526,958		
	資産減耗費	4,132,283		
	当年度未処分利益剰余金	115,494,671	0	115,494,671
	計	590,114,459	382,695,175	207,419,284
鶴形簡易水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	11,900	11,900	0
	減債積立金	18,000	18,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	0	0	0
	当年度分損益勘定留保資金	2,743,920	2,743,920	0
	減価償却費	2,743,920		
	資産減耗費	0		
	当年度未処分利益剰余金	5,256,999	0	5,256,999
	計	8,030,819	2,773,820	5,256,999
合計	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	11,533,159	11,533,159	0
	減債積立金	1,387,000	1,387,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	160,070,288	160,070,288	0
	当年度分損益勘定留保資金	304,403,161	212,478,548	91,924,613
	減価償却費	300,270,878		
	資産減耗費	4,132,283		
	当年度未処分利益剰余金	120,751,670	0	120,751,670
	計	598,145,278	385,468,995	212,676,283

前項の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額598,145,278円に対し、資本的収支の不足額は385,468,995円であり、残り212,676,283円が翌年度へ繰り越されることになる。

#### (4) 資本的収入

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執 行 率 (B)/(A) × 100
資 本 的 収 入	397,365,000	370,047,202	-27,317,798	93.1
企 業 債	204,100,000	202,600,000	-1,500,000	99.3
出 資 金	17,651,000	17,406,000	-245,000	98.6
国 庫 補 助 金	57,191,000	57,191,000	0	100.0
他 会 計 補 助 金	6,781,000	6,780,076	-924	100.0
他 会 計 負 担 金	9,329,000	9,328,410	-590	100.0
工 事 負 担 金	102,313,000	76,741,716	-25,571,284	75.0

##### ① 企業債

企業債の決算額は202,600,000円で、未執行額のうち400,000円は、翌年度へ繰り越す山瀬ダム公共堰堤改良事業への充当分である。

##### ② 出資金

出資金の決算額は17,406,000円で、この内訳は、北東部地区配水管布設に係る一般会計出資金15,891,000円及び山瀬ダム公共堰堤改良事業に係る一般会計出資金1,515,000円で、このうち160,000円は前年度から繰り越された山瀬ダム公共堰堤改良事業への充当分である。また、未執行額245,000円は翌年度へ繰り越す山瀬ダム公共堰堤改良事業への充当分である。

##### ③ 国庫補助金

国庫補助金の決算額は57,191,000円で、この内訳は、管路近代化事業に係る国庫補助金41,300,000円、北東部地区配水管布設に係る国庫補助金15,891,000円である。

##### ④ 他会計補助金

他会計補助金の決算額は6,780,076円で、山瀬ダム建設負担金に係る元金相当分である。

##### ⑤ 他会計負担金

他会計負担金の決算額は9,328,410円で、消火栓新設及び更新に係る負担金である。

##### ⑥ 工事負担金

工事負担金の決算額は76,741,716円で、主な内容は、下水道工事に伴う配水管移設分59,891,000円のほか、檜山川運河河川改修に伴う配水管移設分7,750,050円などである。また、未執行額のうち19,566,000円は、翌年度に繰り越す下水道工事等に伴う配水管移設分である。

## (5) 資本的支出

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執行率 (B)/(A)×100
水道事業資本的支出	787,682,704	755,266,297	-32,416,407	95.9
建設改良費	484,427,704	452,012,217	-32,415,487	93.3
企業債償還金	303,255,000	303,254,080	-920	100.0
鶴形簡易水道事業資本的支出	275,000	249,900	-25,100	90.9
建設改良費	275,000	249,900	-25,100	90.9
企業債償還金	0	0	0	-
合 計	787,957,704	755,516,197	-32,441,507	95.9

### ①建設改良費

水道事業の建設改良費の決算額は452,012,217円で、予算の執行率は93.3%となっている。この内訳は、建設費252,120,239円、管路近代化事業費198,797,444円、繰越建設改良費498,704円、機械及び装置595,830円である。主な工事については、決算附属書類の「2. 工事(1)建設改良工事等の概況」に記載されているとおりである。

なお、水道事業の資本的支出の予算額には、前年度からの繰越額498,704円が含まれている。また、未執行額32,416,407円には、地方公営企業法第26条の規定による予算の翌年度繰越額28,690,000円が含まれている。

鶴形簡易水道事業の建設改良費の決算額は249,900円で、この内訳は水道施設情報管理システム保守業務委託である。

### ②企業債償還金

水道事業の企業債償還金の決算額は303,254,080円で、当年度は繰上償還を行っていない。

## (6) 予算議決事項

予算第5条企業債、第6条一時借入金、第7条議会の議決を経なければ流用することができない経費、第8条他会計からの補助金、第9条たな卸資産の購入限度額については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

(単位：円)

区 分	議 決 額	執 行 額	比 較 増 減
企 業 債	204,100,000	202,600,000	-1,500,000
一 時 借 入 金	170,000,000	0	-170,000,000
職 員 給 与 費	96,449,000	96,162,320	-286,680
交 際 費	10,000	0	-10,000
他 会 計 補 助 金	26,750,000	26,748,287	-1,713
た な 卸 資 産	10,278,000	10,092,621	-185,379